

乙訓の現代史

再刊 号外 2017.10.8

乙訓の文化遺産を守る会 現代史部会

現代部会の再開

8月6日 於：キッチンたろー

向日市文化資料館：展示見学

「乙訓の文化遺産を守る会」は創立いらい、地域の歴史にまなび、文化財の保存運動にとりくんできましたが、30年ほど前には「近現代史部会」がもたれ、数年間ではありましたが近代史の学習をおこなっていました。このほど有志のよびかけで、守る会の部会として、「現代史部会」を再開することになりました。8月6日のひる下がり、有志5名が参会し、現代史の学習について各自の興味関心や、部会の運営方針などについて意見の交流をおこないました。その後、向日市文化資料館の「戦時下の暮らし」の展示見学を行ないました。



第2回 現代史部会：例会

9月10日（日曜）1 寺戸公民館

発表：「谷干城小論

－日本近代保守主義者の一例として－

山中 美緒 さん

谷干城といえば、西南戦争で西郷に善戦したした將軍としては知られているが、高知の儒家の出身の谷が、江戸に遊学し、その後新政府のなかで「専守防衛」の思想を形成していく推移を、多くの資料を用いて説明していただいた。たっぷり2時間のお話しは、難しくもあつたが、充実した学習のひと時をもつことができた。

今後のとりくみについて

第2回の例会にさきだつて、部会の運営について相談しました

- ① 「現代史部会」の学習のテーマ・領域は明治維新から現代にいたる時代を対象とし、戦争のこと・社会や暮らしのこと、教育や文化など、はば広いジャンルを調査・研究の対象とする
- ② 研究の目的や観点は会員個々によるものとし、対象の地域も個々によるが、乙訓地域となんらかの関わりをさぐる。
- ③ 現代史部会は「守る会」の部会として活動するが、その運営は独自におこなう（例；古文書部会）

第3回 現代史部会のあんない

とき：10月8日（日曜）13時30分～

ところ：寺戸公民館 小会議室

内容：「乙訓の戦争遺跡―故・福林
徹さんのレポート紹介―」

報告：長谷川 澄夫 さん

.....

第4回 現代史部会のあんない

とき：11月25日（日曜）13時30分

ところ／内容：未定

報告：佐藤 兼司 さん

※ 世話人：長谷川（代表）・大原（庶務）・佐藤（会計）・後藤（広報）・その他 若干名部会